

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	残胃1/2以下となる上部胃癌に対する噴門側胃切除の意義に関する検討
該当者	2012年から胃癌の治療を受けられた方
当院の研究責任者	外科 榎田会生
研究代表者	外科 榎田会生
本研究の目的	山形県立中央病院において胃癌の手術を受けた患者を対象に、手術方法の違いによる術後の成績について検討する。
実施予定期間	2012年1月1日～2024年7月19日
研究の方法	この調査では、当院の外来・入院治療において、2012年1月1日～2022年12月31日までの間に、胃癌に対して噴門側胃切除術または胃全摘術を受けた方の電子カルテに記載のある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断、治療経過、合併症
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を 第79回日本消化器外科学会総会 で公表します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	外科 榎田会生 023-685-2626